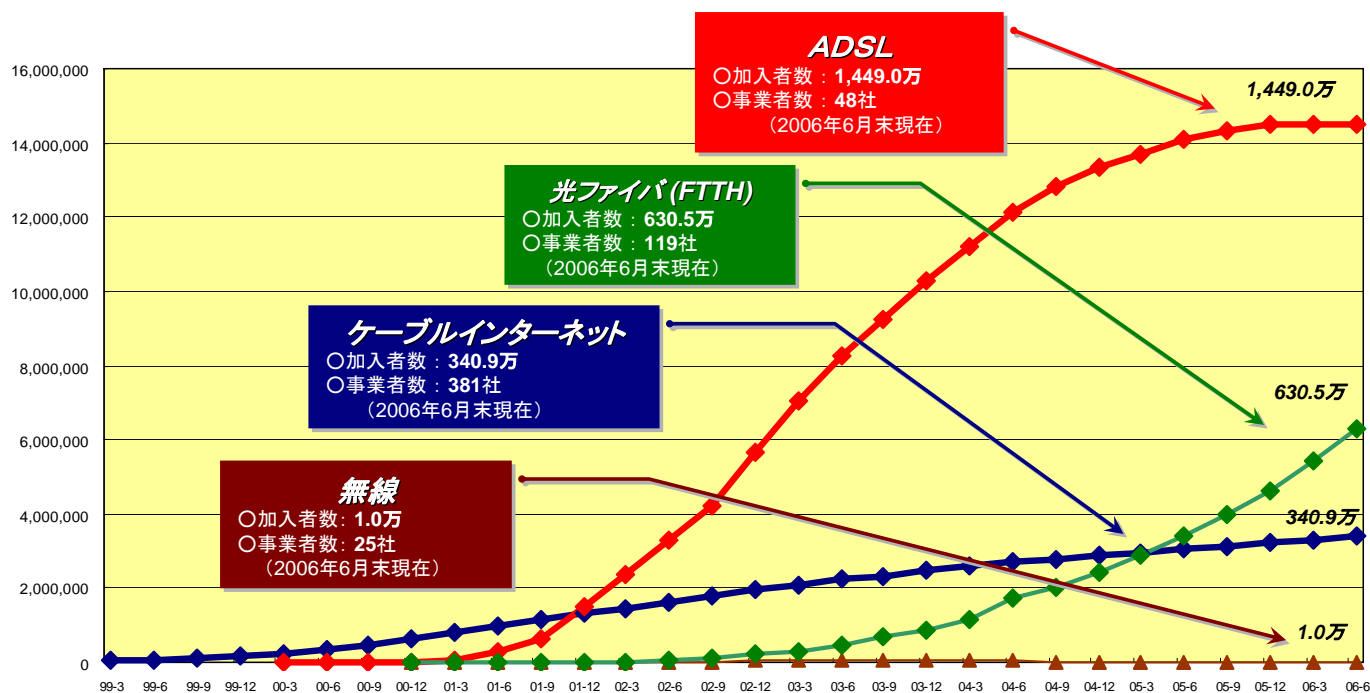


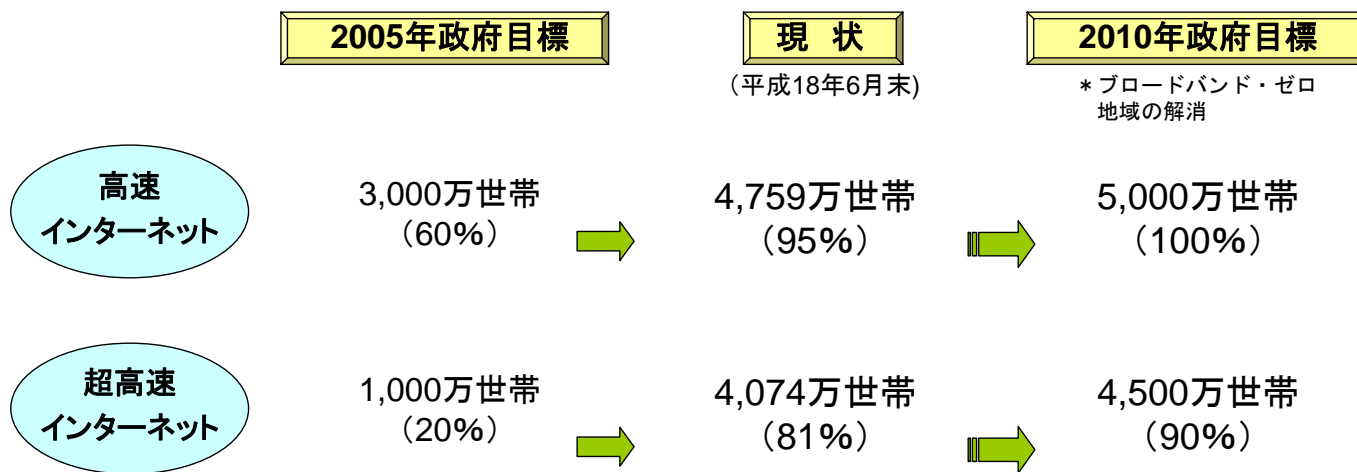
ブロードバンド・サービスの加入契約状況

ブロードバンド全体の加入数は、都市部などの一部の地域でADSL契約数が減少傾向(平成18年3月末と比べ2.6万の減)であるが、光ファイバ(FTTH)の伸びは、対前年度比で約1.8倍の約630万加入と急増している。(ブロードバンド総加入者数は2,422万加入)



※2004年5月末までは任意調査、2004年6月末より改正電気通信事業報告規則に基づく調査。

ブロードバンド基盤整備の現状 ① (サービスエリアの世帯カバー率と目標)



※ e-Japan戦略 (2001.1.22 IT戦略本部)

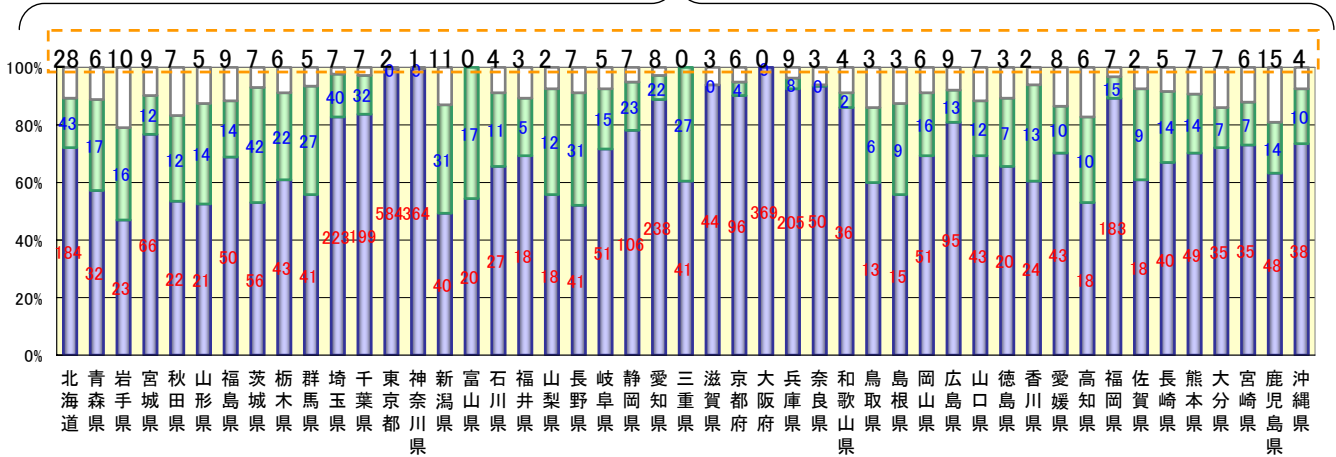
※ IT新改革戦略 (2006.1.19 IT戦略本部)
 ※ 次世代ブロードバンド戦略2010 (2006.8.11 総務省)

ブロードバンド基盤整備の現状 ② (都道府県別加入可能状況)

○ブロードバンドが全く利用できない世帯は279万世帯。東京、神奈川、富山、三重、大阪ではほぼ利用が可能。
 ○光ファイバの整備は、東京、神奈川、大阪府等の大都市での整備が進んでおり、地方部との整備に格差がある。

ブロードバンド・サービス未提供世帯(空白部分)
 (ブロードバンド・ゼロ地域)
279万世帯

(平成18年6月末、単位:万世帯)



注 事業者情報、国勢調査データ等から、町丁目ベースの加入可能世帯数を積算。
 なお、ADSLについては、サービスの提供地域内であっても、収容局からの距離が4kmを超える世帯については信号の減衰が大きく実用に適しないことから、「未提供」に含めてある。

- FTTHサービス(光ファイバ)が提供されている地域の世帯
- FTTHサービスは未提供だが、ADSL、ケーブルインターネット等の何らかのBBサービスが提供されている地域の世帯
- BBサービス未提供地域の世帯

ブロードバンド基盤整備の現状 ③ (ブロードバンド・ゼロ町村の分布)

